

(B) 闘争組織及方法。

- 一、地方農村委員会に黨農村委員会の指導下に職員並に未組織大衆を含む各種カンパニア(借金モラトリアム同盟、電料料値下等々)を組織してその目的達成の爲めに闘ふ。
- 二、各種カンパを精力的に戦い抜く爲めに左の方法をその情勢に適應して採用する。

イ 座談會、講習會を委員会指導下に開く。

ロ ビラ、ボスター傳單(小ビラ)を作製配布すること。

ハ 街頭署名示威運動、街頭署名罷關運動の組織。

ニ 委員会の指導下に村民大會農民大會を開く。

六、農村委員会構成

一、中央部

田所輝明(委員長)、角田藤三郎(主任)。

二、地方委員

岩淵鎌太郎、西村菊次郎、川俣清吾、近江谷友次、日野吉雄、

小島幸吉、三宅正一、石田賢全、横田忠夫、秋山要、水野四郎

須水好、菊池重作、村松信吾、柳川伊好、石橋源四郎、平工洋

市、森田喜一郎、山田光晴、和田泰太郎、青岡八十一、河合義一

行政長蔵、後藤勉、竹澤豊、木村忠一、井谷正吉、濱田一郎

宮向剛平、山上武雄、松本發善、野口龍三、荒岡正太郎、福島一郎

一、辯護士委員

三輪壽壯、細野三千雄、細田綱吉、浦田周太郎、黒田壽男、福

田豊太郎、野尻昌次、小島利雄、中村尚一、大泉信、高島春二

(以上東京)、一井伊誠一(新潟)、大貫大八(栃木)、石井紫丸(群馬)

泉國三郎(岩手)、菊池義之助(宮城)、額野二郎(茨城)、田中武助

水谷長三郎(以上京都)、河上丈太郎、岩田嘉承郎、浪江源治、河

合興(以上大阪)

一、農民組合對策部

部長田所輝明、(主任)角田藤三郎、(部員)平野學、稻村隆一

渡邊潜、山崎劍二

第三節 反戦闘争委員会報告

委員長 堺 利 彦

主任 阿 部 芳 夫

早晩来る可き危機の情勢下に置かれたる日支兩軍は遂に九月十八日龍條滿事件として、一大衝突を見た。

五、日支衝突の激化は、我々の反戦闘争委員会に於て、委員長に堺利彦氏主任に於て、大期責任執行委員会に於て、委員長に堺利彦氏主任に於て先づ之れが闘争方針書を作製したが常局の歴に觸れ發行停止さる。

續いて反戦の意味を徹底する爲めに十月廿五日 本所公會堂に於て對支出兵反對闘争の大演説會を開催して、我黨の滿蒙戰爭に對する態度を黨外に宣命した。

現下の情勢下に於ても能く限りの最大闘争をなすべく各聯合會支部分會に對して尤も果敢なる闘争にまで發展すべく指令をして居る。

防止を目的とする對支出兵反對闘争委員会が九月二十八日の常任中央執行委員会に於て決定した。

委員長 大山郁安

委員 宮崎龍介 鈴木茂三郎 河野 新 淺沼稻次郎 加藤

勘十 室伏高信 阿部茂夫 田部井健二 岡田紫司

織本 侃 山花秀雄 三輪壽壯 水谷長三郎 淺原健

三 河上丈太郎

第九節 婦人部報告

部長 室伏高信

三輪壽壯 川瀬 宏

七月五日の合同により、婦人部は新なる部長會の定をみ、左の部員の任命があり、新なる婦人部の構成をもつた。

部長 室伏高信 主任 津瀨力松

部員 岩内とみえ 堺 眞樹 菊川きみ子

松村 喬子 梶原ひでの 寺本 っる

重森 志摩 中田 小春

第一回婦人部會は九月七日、第二回は流會、第三回は十一月九日に黨本部に於て開催。半ヶ年間に三回、しかも第一回は流會であつた。部員の中には、一度も出席しない人があつた。從つて部員に於る協議も甚だ無爲無策であつた。單なる婦人同盟の闘争であつた。黨の労働組合對策部又は農民組合對策部を通じて婦人組合にアツピールし、同盟の組織強化又は婦人勞